

「たきび」の詩人 巽聖歌

生誕100年 ③

昭和19年(1944)、岩手県岩手郡沼宮内町に疎開した聖歌は、戦後の活動を盛岡で開始しました。

昭和21年1月には短歌と詩の雑誌『新樹』を創刊、装丁や挿絵は妻千春が担当しました。6月、「岩手児童文化協会」が発足し、事務局長に就任。「こどもしんぶん」を発行しました。8月には休刊していた「新児童文化」を復刊、「あたらしい児童文化を強く明るくしつかりと築きあげよう」と宣言しています。

昭和23年、聖歌は上京を決意、日野町東大助(旭が丘)に居を定めました。当時の旭が丘付近は作家伊藤整の家など人家もまばらで両家は家族ぐるみで、親しい交流がありました。

上京後の昭和26年半ばから「日本綴り方の会」に関係するようになり、翌27年



▲巽聖歌 昭和37年自宅で愛犬と

『中学生詩集』、『小学生詩のつくり方』を刊行しました。同年8月、「日本作文の会」が結成されると常任委員になり、各地の学校の先生たちとの交流が始まりました。以後、創作活動を続けながら、学校教育の場における児童詩、つづり方の指導者として、また、教師達の指導・助言者として活躍しました。『今日の児童詩』など、この分野での著作は多数あります。昭和41年日本作文の会評議委員となり、昭和46年赤い鳥文学賞選考委員を委嘱されました。

日野市では産業共進会審査員などを務め、平山小をはじめ、市内や多摩地域の学校の教師達とも交流があり、南多摩地区の教師達による「八南作文の会」には、結成から関わり、「西多摩作文の会」の指導なども精力的に行いました。聖歌は、多数の校歌を作詞しています。市に寄贈された資料の中にも幼稚園から高等学校まで70曲余の自筆原稿が残されています。当時は、新しく開校した学校も多く、民主的で新しい時代に合った校歌が求められました。巽聖歌に、多くの作詞の依頼があつた背景には、現場の教師達の聖歌によせる絶大な信頼があつたものと思われまふ。聖歌の校歌は、「明日の日本の担

日野の歴史と民俗

89

い手「日はのぼる」のように表題が付けられているものが多いのが特徴です。日野市では四小と七生中の校歌を作詞しています。聖歌は、新美南吉の死後、南吉の作品を世に出すこと、散逸した日記や原稿を収集することに奔走、多くの時間を費やしました。岩手に疎開中から『牛をつないだ椿の木』花を埋める、『久助君の話』などの児童詩を次々に刊行しました。また、『新美南吉童話全集』3巻(昭和35年)、『新美南吉の手紙と生涯』詩集、墓碑銘(昭和37年)、『新美南吉全集』8巻(昭和40年)、『新美南吉17歳の作品日記』(昭和47年)など、全集や南吉に関する著作も刊行しました。また、現在も小学校4年生の国語の教科書にはすべて、南吉の代表作「こんぎつね」が掲載されていますが、これは昭和31年聖歌が大日本図書で教科書編集委員になって推薦したことがきっかけでした。

しかし、南吉の童話作家としての評価が高まるにつれて、聖歌の南吉作品に対する改作が問題となり、オリジナル原稿を求めて、巽聖歌批判が起こるようになりました。原稿の手直しは、もともとは戦前に日常的に使われていた差別用語や軍国的な表現が、GHQの検閲に耐えられないようにすることから始まったことでした。聖歌にとっては、すべてを託された

南吉の作品を、なんとか世の中に出したい、少しでもよくしたいという気持ちがあつたのでしょう。聖歌の死後、『校定新美南吉全集』12巻が刊行され、改作部分はすべて元に戻され、犠牲にして取り組んだ聖歌にとって、改作批判は当惑する出来事でした。しかし、南吉に対する聖歌の心情は純粋なもので、南吉の作品が散逸を免れ、多くの人に愛され、読みつづけられていることは、聖歌の功に負うところが大きいのです。聖歌は、昭和48年4月24日、心不全のため市立病院で亡くなりました。68歳でした。皇太子妃(当時)美智子様は、聖歌の死を悼んで「山茶花の咲ける小道の落ち葉 焚き童謡とせし人の今亡く」(歌集)ともしび(所収)と詠まれました。美智子様とは、南吉の作品を介しての交流がありました。聖歌の墓は、八王子市の喜福寺にありますが、富士霊園(静岡県駿東郡小山町)にある「文学者の墓」にも名が刻まれています。昭和52年『巽聖歌作品集』上下が刊行されました。(郷土資料館 北村澄江)

コーア・テレージア 毎週土曜日午後2時～5時 / 勤労・青年会館 / 月5千円 個人発声レッスン / 宇賀神 (☎584-3126)

社交ダンス「ワルツ会」 10月～12月の月4回日曜日午後6時～9時 / 勤労・青年会館 / 月2千円 プロの指導 / 吉村 (☎583-8314)

日野手品サークル 毎月第3火曜日午後7時～9時 / 中央公民館 / 入会金1千円、月1千500円 初心者歓迎 / 勝又 (☎582-7327午後6時以降)

健康太極拳24式 毎週水曜日または土曜日午前10時～11時30分 / 南平駅西交流センター / 月1千500円 指導 / 動きやすい服装で / 柴田 (☎591-6781)

日帰り温泉同好会「わくわく会」 平日に山梨方面の温泉に行きます 自宅送迎 / 年2千円 / 野田 (☎591-5925)

「フラオラハイナ」フラダンス体験 毎月第2・第4月曜日...万願寺交流センター、毎月第2・第4木曜日...新井地区センター / 午後1時～2時 / 60歳以上の女性初心者対象 指導 / 10人 / 月1千円 / フレアスカートかズボン、ソックス着用で / 鈴木 (☎592-4597午後6時以降)

シニアのテニス同好会 毎週土曜日・日曜日早朝 / 市内テニスコート / 入会金2千円、月1千円程度 積極的に参加できる方歓迎 / 中村 (☎592-1348)

シニアの為の英会話サークル 毎月第2・第4水曜日午後1時15分～2時45分 / 中央公民館高幡台分室 / 60代・70代の方がゆっくり楽しく学べる英会話 / 月2千800円 / ハミルトン (☎591-2326)

シルバードンズ教室 毎週木曜日午後1時15分～4時30分 / 福祉支援センター / 多少の経験者対象 指導 / 入会金1千円、月2千500円 / 鶴岡 (☎592-2902)

童謡の会「こまくさ」 毎週水曜日午前10時～11時30分 / 湯沢福祉センター / 入会金1千円、月3千円 / 吉沢 (☎592-7708)

みんなのメモ帳 主な掲載基準

(1)この欄は広報手段を持たない市民、団体・サークル等(主に市内在住・在勤・在学者で構成)の活動を支援するものです。市主催のものではありませんので、内容の確認は当事者間をお願いします。

なお、掲載後に苦情等のあつたものは、今後の掲載を見合わせる場合もあります。

(2)政治団体などが行う行事・会員募集(以下「行事等」)や政治活動とみなされる行事等は、掲載できません。

(3)宗教団体などが行う行事等や宗教活動とみなされる行事等は、掲載できません。

(4)企業などが行う行事等で営利目的や営業宣伝とみなされる行事等は、掲載できません。

(5)一般の行事等の取り扱いは、次のとおりとします。

①サークル活動などの会員募集は、

同好の仲間を募るためのものとしません。「私が教えます」式のものも掲載できません。

また、同一サークルの会員募集の再掲載は、掲載3カ月後から受け付けます。

②営利を目的とする教室などを開いている個人・団体の講演会や作品展などは、掲載できません。

③行事等の参加費用は、必要費、材料費等の実費、常識範囲の会費(茶菓子代等)を越えないものとしません。

④営利目的とみなされるバザーやガレージセールなどは掲載できません。

⑥掲載順位はその号でないと間に合わない日程の行事等で、市内団体が市内を会場に実施するものを最優先とします。

「パーシャール病とは手足の血管が詰まって壊死する原因不明の病気です。最近、この病気が歯周病原菌によって起こることが東京医科歯科大学グループによって世界で初めて証明され、新聞等で報道されました。

研究では、同病患者的の口腔内と患部の血管を調べて、「歯周病」と「パーシャール病」との関連について検討しました。その結果、すべてのパーシャール病患者は歯周病と診断されました。また、患部の血管試料のほとんどから歯周病原菌が検出されました。

それに対して、正常血管の

市民の健康 守ります②

三師会から

試料からは歯周病原菌はまったく検出されませんでした。この発見から「パーシャール病」が関係していることが明らかになったのです。それ以外にも、歯周病は糖尿病、脳梗塞、心内膜炎、誤嚥性肺炎、早産など色々なことに関連していることが証明されてきています。市では、毎年40歳、50歳、60歳、70歳の市民を対象に無料で歯周病健診を実施しています。このような機会を利用して歯周病の状態をチェックしてもらおうとしよう。(健康課 ☎581-4111)